

CLOSE TO YOU

-ニュースレター版-
2017年12・2018年1・2月号/No.20

明けましておめでとうございます！…と言いた

いところですが、もうすっかりタイミングの逃してしまいました。(笑)もう3月ですね。

私はここ数年、年末年始に必ずと言っていいほど体調不良で倒れていましたが、今年は久しぶりに健康的な日々を過ごすことができました！年始には久しぶりに実家に帰省し、両親や祖父母、従姉妹と共に、短くも濃い時間を過ごすことができました。



◀ニュースレターに度々登場する従姉妹の六花は、私と19歳年齢が離れていますが、大事な友達です^^これはお正月に出かけた札幌のディズニーストアで初めてのオソロイを買ったときにパシャリ。



◀いつもお祈りいただいている祖父も元気そうでした。実家にある家具はほとんどが祖父の手作り。何でもパキパキ作ってしまう様は、まさに匠のワザ。私の学習机も祖父が作ってくれました。



◀こちらは二人の孫に囲まれる祖母。取り囲む私たちは、ちょっとだけブ○ゾンち○みを意識しています。(笑)お正月には「ダブル」というカードゲームをして、大変盛り上がりました。

こうして家族みんなで集まることができるのはあと何回だろうかと帰るたびに思いますが、しっかり親孝行&伝道の役目を果たしていきたいです、

また、今回は愛犬ふえありがいなくなってから初めての帰省でした。実家を出てから8年が経ちますが、いつも帰ってきた時、誰よりも先に喜んで出迎えてくれたのはふえありいでした。そのふえありいがない家はなんとも寂しく、命には限りがあること、与えられた命をどう使うのか…改めて考えさせられる時間にもなりました。名古屋に帰ってきてからヨハネ6:27のみことばを読み、なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のためにこれからも働いていきたい、と思った次第です。

皆さん、今年もよろしくお祈りします！

-12月の主なはたらき-

12/10 クリスマスケーキパーティー (人形劇) ☆

12/16 石戸兄を囲んで夕食会

12/17 ユース・クリスマスパーティー ☆

12/24 ユース礼拝 (メッセージ)

クリスマス祝会

イブ賛美礼拝 (朗読)

久しぶりに3ヶ月分のニュースレターになります (涙) ☆印のみ、報告します。

12月は感謝なことに毎週クリスマスのイベント

がありました。まず最初に行ったのは、クリスマスケーキパーティー。



◀イベントの定番・勝ち抜きじゃんけんは今回も大盛況！小学生はお菓子、ユース世代はカップ焼きそば、ママたちにはカップスープが人気です。最後まで誰がGETできるかわからないところがこのゲームの面白さ。



◀写真がなくすみません (涙) 今回もユースのメンバーが1ヶ月かけて「三本の木」の人形劇 (TCU 人形劇サークル提供) を準備し、披露しました。一人一人に神様の計画があることを伝えました。



今回は世界にひとつだけのオリジナルクリスマスケーキを作ろう！ということで、ホットケーキミックスが生地のマフィンを用意し、それぞれが思い思いのトッピングでクリスマスケーキを製作。「インスタ映え」という言葉が昨年の流行語大賞に選出されましたが、まさにその言葉にふさわしい、素敵なケーキがたくさんできました！ (笑)

written by manyamo



◀時間がない中、人形劇を準備してくれたユースのメンバー。今回の人形劇は、この日だけではなく24日のクリスマス祝会でも披露しました。

初めて来てくれたおともだち…というよりは、カンガルークラブ（子育てサークル）繋がりのおともだちが時間を気にせずゆっくり楽しむことができた、アットホームなイベントになりました。

また、12月17日にはユース主催のイベントも企画しました。クリスマスの時期で準備期間があまりなかったものの…前々から「やりたい！」と声が上がっていた賛美集会や、その時みんながやりたかったことをすべて詰め込みました。（笑）



◀この日のメッセンジャーは高校生のSくん。詩篇103:2のみことばから「神様はどんなに良いことをしてくださる方か？」ということ、みことばをたくさん開きながら証ししてくれました。



◀この日の夕食は料理人・K兄とその仲間たち特製の煮込みハンバーグ。いくらでもご飯がすすみます^^（ちなみに残ったハンバーグたちは一週間かけて私のお腹の中へ…。笑）



◀またこの日は賛美集会で奏楽の奉仕をしてくれたY兄のお誕生日！！本人には薄々勤付かれながらみんなでサプライズ^^笑 31のアイスクーキをおいしくいただきました。

今までユースのイベントは何度か行ってきましたが、今回のようにユースが主体となってプログラムを考えたりやりたいことをそのままやってみたり…というイベントは初めての試みでした。

私もこの教会に来て2年半が経ちますが、少しずつ思っていることややってみたいことをユースの方から話してくれるようになりました。今まで積み上げてきた一人一人との日々の関わりが、今回のようなユース主体のイベントに繋がったのかな？と思いつつ感謝しています。

4月には野外活動を計画中です。次世代を担うユースのために祈りください！

-1月の主なはたらき-

- 1/1 元旦礼拝
- 1/7 分級（1年の抱負発表）
- 1/14 ユース礼拝（メッセージ）

1月は唯一イベントがない月です。どうしてもバタバタしてしまう12月を終えて、次年度やこれからのことについて一度立ち止まって考える…という意味でも必要な月だと思っています。



いつものように教会と私の働きを報告してもいいんですが…1月は私自身、久しぶりに色々な思いに翻弄された1ヶ月を過ごしました。日々色々なことが次々と起こる中で、どう祈ったらよいかわからなくなったときに辿りついたのが「しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」（マタイ26:39）と祈られたイエス様の祈りでした。私の思いを遥かに超えた方に明け渡す、委ねていくことの大切さを改めて教えられた大事な1ヶ月になりました。



私の好きなドラマに「トップキャスター」というドラマがあります。今から10年以上前に放送されたドラマなんですが、天海祐希が演じる報道キャスター・椿春香が様々なピンチに遭遇しながらも「真実を報道する」という自分の信念を貫き通し、ピンチを逆手にとって自らのチャンスに変えていく…という内容のドラマです。

私はこのドラマをみる度に「信じて行動することの大切さ」をいつも教えられます。

ピンチに遭遇するとき、そこから逃げ出したい思い、不安、悲しみ、もどかしさ…色々な思いがフツフツと湧いてきます。しかしそんな時何よりも大切なのは「どうしようどうしよう」と狼狽えることではなく、思い悩むことでもなく、ただ神様を信頼し祈ることに他なりません。（聖書に書いてある人間の歴史を見てもそうです）その上で行動を起こしていくとき、私たちは神様のみわざをたくさん見ることができます。

written by manyamo

「委ねること」「手放すこと」「信じて行動すること」。これらは信仰生活の長さ、知識の有無や立場も関係なく、地上での歩みを終えるまで絶えず問われ続けていくことです。

イエス様がゲッセマネの園で祈られた祈りに心を留めつつ…私の思いではなく、神様の御心がなされるようにと私も祈る者でありたいと思っています。

-2月の主なはたらき-

- 2/11-2/12 男子リトリート☆
 - 2/12-2/14 watoto children choir来名(教会泊)☆
 - 2/13 watotoコンサート@アガペクリニック☆
 - 2/17 KGKセミナー☆
 - 2/18 クレープパーティー(メッセージ)☆
- 2月は本っっ当に濃い1ヶ月になりました。
(笑)コンパクトに報告したいと思います。

私たちの教会では、毎年2月に「男子リトリート」を行なっています。「今年もやるうか!」という話になり2月11日(日)の午後から、1泊2日の日程でリトリートを行いました。



◀なananんと!!集まったのは26人の男の子たち!スタッフもびっくりです。(笑)この日の礼拝は明らかに大人よりも子どもの方が多く教会の中は終始賑やかでした^^



◀夜はたくさん賛美した後、S兄がMEBIGの紙芝居を使ってメッセージをしてくれました。罪の身代わりになってくれたイエス様を信じるとき、初めて人は新しく生まれ変わることができることを学びました。



◀最後は1泊2日を振り返って、感謝と分かち合いのときをもちました。昨年も好評だった逃走中、室内でのゲーム大会、夜は映画を見たり…26人集まったからこそ、楽しい時間になりました!

この時期はインフルエンザが猛威を振るい、当初予定していた計画とは違うものになりましたが、だからこそみんなで知恵を出し合い、支え合い、祈り合い、時には笑い飛ばし…。(笑)でも必要なときにはちゃんと助け手が与えられ、とっても思い出に残るリトリートになりました♡

そしてそして…リトリートが終わったその日の夜には、アフリカのウガンダから「watoto children choir」の子どもたち25名が私たちの教会に!



◀watotoとは…アフリカのウガンダにある、watoto教会から派遣されている子どもたちです。彼らのほとんどは戦争やエイズなどで両親を亡くしています。コンサートを通して世界各地に赴き、希望を伝えています。

毎年、日本には約2ヶ月かけて各地でコンサートを開催していますが、今回思いがけず私たちの教会が名古屋公演での彼らの生活拠点となりました。



◀13日にはS兄が医院長を務めるアガペクリニック主催でコンサートがありました。完成度の高いパワフルな歌声以上に、悲しい過去がありながらも揺るぎない希望を持って生きている姿に心が打たれました。

私自身、watotoのことは噂程度にしか知りませんでしたが、今回初めてwatotoのコンサートに足を運び、もう感動してしまいました。



(涙)

彼らの経験してきた過去を思うと本当に心が痛みます。でも、誰一人として悲しい顔をしてるどころか、むしろ私たち以上にキラキラと輝いた顔をしていました。神様が25人ひとりひとりに確かに働かれ、生きる希望と愛を与えてくださっていることを感じずにはいられませんでした。

日本において「クリスチャンです」と告白することがあります。それ故、自分が神様から受けた恵みや本当に嬉しかったことがあっても、憶測が先走り尻込みしてしまうことが私にはよくあります…。

今回私はwatotoの子どもたちから、受けた喜びをそのまま伝えることの大切さを教えられました。この先何度も尻込みしそうな場面に遭遇すると思いますが…受けたものをそのまま伝える者でありたいですね、



◀もうひとつのエピソードとして…。諸事情で公衆浴場には行けないwatotoのメンバーが毎日お風呂に入れるように…と洗礼槽をシャワールームへ大改造。これもまた決して忘れられない思い出に。(笑)

written by manyamo



また、2月17日には

「若者と生きる教会」と題して、KGK（大学生・専門学生のための伝道団体）の主事である吉澤慎也師の講演に参加してきました！

私が今回の講演で心に残ったのは「話を聞く、その態度が大事」ということでした。

「教会あるある」かもしれませんが、たまにふらっと青年世代の若者が教会に来ることがあります。そんな時、人見知りの私は「とりあえず様子をみる」ことを選んでしまうことが多いです…。「私なんかと話しても…。」「何話せばいいのかな…。」「もっとコミュニケーション力に長けた人が…。」と言いつつ、訳はいくらでも挙げることができそうですが、「初めて教会に来た人で、話しかけられて嫌がる人はまずいない」という話を聞いて「そうか…。」となりました。ひとことでも「話しかける」という態度が大事なのだと思えました。（当たり前のことなんですけどね、笑）

また、より多くの方が一言でも話かけてあげることも大切である、という話にもなるほどな～と思えました。教会の雰囲気、温かい交わり、どのように自分を迎えてくれたか？それも若者が教会に繋がる、決め手のひとつだと思います。突然やってくる「その時」に……「あなたに興味を持っているよ」とひとことでも話しかけられる者になりたいと思います。

そして、2月18日には今年初のイベント「クレープパーティー」を行いました！



◀グルグルホイ！というポーズじゃんけん。「ホイ！」の合図で司会者と同じポーズなら負け。ポーズじゃんけんの中で一番簡単なポーズだと思います、時間があまりないときにもオススメです^^



◀相変わらずクレープは大人にも子どもにも大人気^^年に二回は必ずやっていると思います。(笑) 今回もK兄特製のキーマカレーが出ました！おいしかったです♡



◀この日は女の子もたくさん来た、嬉しい日でもありました♡でも、あれ…？ひとり女の子じゃない人が写っているような、、、(笑)

昨年の11月から、月に一度行われるイベントにテーマを決めています。今回はクレープパーティーということで「包まれる」をテーマに、それに沿って賛美やゲーム、メッセージを準備しました。（私がメッセージの奉仕をさせていただきました）

クレープにはたくさんの具材が必要です。でもただ具材をお皿に盛り付けるだけではクレープにはなりません。必ず「クレープの皮」が必要です。クレープの皮でその具材を包んで、初めておいしいクレープが出来上がります。それと同じように、私たちが完成されるためには、神様の愛がなくてはならないものだ…ということをお伝えしました。

また、ちょうどwatotoの子どもたちが帰っていった直後だったので、ローマ5:5「この希望は失望に終わることがありません。」の箇所から、彼らには本当のお父さんはいないかもしれないけど、いつもそばにいて愛してくれる天の神様がいて…それがwatotoの子どもたちが手に入れた希望なんだよ、ということも分かち合いました。

全体で36人、おともだち16人の参加でした！

-これからのこと-

久しぶりに3ヶ月分のニュースレターを執筆し、「今年はちゃんと月に一度の発行を目指そう…。」と固く決意しました、、、昨年も同じことを言いながら結局2ヶ月毎の更新になってしまいましたが、自分の記録のためにも頑張りたいと思います。(笑)

さて、「4月の私」について少し触れたいと思います。昨年12月に「ケニアで行われるメノナイトの宣教会議に、教団の代表として行かないか？」というありがたいお話をいただき、4月18日から28日までケニアに赴くことになりました。飛行機は年に何度も乗っていますが、日本から出るのは実に15年ぶり…。英語を話せるわけではない私が果たして10日間も生きていけるのだろうか、、、と何もかも不安だらけですが、未知の地・名古屋に来たときのことを思い出しながら頑張ってくださいと思います。(笑) 生きて帰ってこれるように、健康に10日間を過ごすことができるように…祈っていただけると嬉しいです。

その間、教会には常駐者がいない状態になります。教会のためにもぜひお祈りください！



written by manyamo